

東海大学の主要なシステムを構築しているベンダー

1. エグゼクティブサマリー

本分析に基づき、東海大学の主要なシステムを構築している中心的なベンダーは富士通であると結論付けられます。富士通は、データセンターのアウトソーシングサービスを提供し、大学全体のクラスサポートシステムやポータルシステムといった重要なプラットフォームをホストしていることが明らかになりました。一方で、会計システムにはニッセイコム、人事・給与システムにはクレオマーケティング、学習管理システムにはCorreos Corporation、授業支援システムには日立社会情報サービスといった、他の重要なベンダーもそれぞれの専門分野で貢献しています。最近発生したサイバー攻撃は、これらのベンダーとの関係に影響を与える可能性があり、今後のセキュリティ対策やシステム復旧において、ベンダーの役割が改めて重要視されると考えられます。

2. はじめに

東海大学は、日本国内に複数のキャンパスを持ち、人文科学から理工学、医療、海洋学、農学に至るまで幅広い分野を網羅する大規模な総合大学です¹。これほどの規模と多様性を持つ大学の運営には、学術活動、事務管理、研究活動など、あらゆる側面を支える高度で包括的な情報技術(IT)システムが不可欠です。

現代の大学運営において、ITシステムは単なる効率化ツールではなく、教育・研究活動の中心を担う基盤となっています。学生の履修登録や成績管理、教員の授業運営支援、大学全体の財務管理、職員の人事・給与管理、そして研究データの管理・共有など、その役割は多岐にわたります。

本レポートでは、公開されている情報を基に、東海大学の主要なITシステムを構築し、維持している中心的なベンダーを特定することを目的とします。分析にあたっては、大学の公式サイト、ITベンダーが公開している導入事例、プレスリリース、調達情報といった情報源を調査しました。

3. 東海大学のITシステムベンダー分析

3.1 特定されたITベンダーとそのシステム

以下の表は、調査を通じて特定された東海大学のITベンダーと、それぞれのベンダーが提供しているシステムまたはサービスをまとめたものです。

ベンダー名	提供システム/サービス	ソーススニペットID
-------	-------------	------------

ニッセイコム	財務会計システム「GrowOne 財務会計」	5
CTC(伊藤忠テクノソリューションズ)	健康管理ツール「Growbase」	7
Correos Corporation	学習管理システム「Open LMS」	9
富士通	データセンターアウトソーシング、クラスサポートシステム「CoursePower」、ポータルシステム「Campusmate-J」(可能性あり)	11
日立社会情報サービス	大学全体のクラスサポートシステム「IT's class.」	14
クレオマーケティング	人事・給与システム「ZeeM 人事給与 学校法人版」	15
リコージャパン	印刷環境ソリューション	4
株式会社キャリアタス(DISCO)	就職支援システム「キャリアタスUC」	20
東海教育産業(東海EIC)	教育関連・システム関連サービス、機器納入	21
東海ソフト	ソフトウェア開発、ICT教育向け無線インフラサポート	22
フルノシステムズ	ICT教育向け無線LANアクセスポイント	23
NEC	仮想デスクトップ環境、データセンターでのサーバーホスティング	12
Wovn Technologies	ウェブサイト多言語化サービス	25
コラボレーションシステムズ	コンピュータ室利用状況管理シス	26

	テム「ClassView」	
株式会社ニッセイコム	財務会計システム選定時の候補	5

これだけの数のベンダーが関与していることは、東海大学のITインフラが複数の専門的なシステムによって構成されている可能性を示唆しています。大学は、それぞれの機能に特化した最適なソリューションを複数のベンダーから導入する戦略を採用していると考えられます。また、リコーのように長年にわたって複数のプロジェクトに関わっているベンダーも存在することから⁴、大学とベンダーとの間に継続的な信頼関係が築かれていることが伺えます。

3.2 各システムの重要性

大規模な大学運営において、それぞれのITシステムは極めて重要な役割を果たしています。財務会計システム(ニッセイコム)は、大学の予算管理、会計処理、財務報告に不可欠であり、健全な大学運営の根幹を支えます⁵。健康管理ツール(CTC)は、学生と教職員の健康維持・増進に貢献し、安全で快適なキャンパスライフを支える上で重要です⁷。学習管理システム(Correos/Open LMS)は、オンライン教育の提供、教材の管理、学生と教員のコミュニケーションを円滑にし、特にパンデミック以降、その重要性は増しています⁹。

データセンターとインフラ(富士通/NEC)は、これらの様々なシステムが安定して稼働するための基盤を提供し、事業継続計画(BCP)の観点からも非常に重要です¹¹。2011年の東日本大震災後の計画停電でシステムが停止し、全国のキャンパスに影響が及んだ経験から、東海大学はBCPの強化を急務としており、富士通のデータセンター活用はその一環と考えられます¹¹。授業支援システム(日立社会情報サービス)は、教員の授業準備・運営を効率化し、学生の学習を支援することで、教育の質向上に貢献します¹⁴。人事・給与システム(クレオマーケティング)は、多数の教職員の人事情報、給与計算、福利厚生などを管理し、大学の人事管理業務を効率的に行います¹⁵。印刷サービス(リコー)は、学生のレポート作成や教員の教材印刷など、学術活動に不可欠なサービスを提供します⁴。就職支援システム(キャリアタス)は、学生のキャリア形成を支援し、就職活動をサポートします²⁰。教育・システム関連サービス(東海EIC、東海ソフト、フルノシステムズ)は、大学の教育活動やITインフラを様々な形で支援していると考えられます²¹。ウェブサイト多言語化(Wovn Technologies)は、国際的な学生や教員にとってアクセシビリティを高めます²⁵。コンピュータ室管理(コラボレーションシステムズ)は、大学のITリソースの効率的な利用を促進します²⁶。

最近発生したサイバー攻撃²⁷は、東海大学がこれらのITシステムに深く依存していることを改めて示しています。ウェブサイトやメールシステムを含む多くのオンラインサービスが利用不可能になるという事態は、大学運営に大きな影響を与えました。臨時的公式サイト²⁷が立ち上げられたことから、基幹システムの広範囲にわたる障害の深刻さが伺えます。

3.3 ベンダーの関与の深さと広さ

各ベンダーの導入事例を分析すると、その関与の範囲が見えてきます。ニッセイコムの財務会計システム「GrowOne 財務会計」は、複数の会計ユニットに導入されており⁵、大学全体で利用されていることが示唆されます。CTCの健康管理ツール「Growbase」は、学生と教職員の両方を対象としていることから⁷、広範なユーザーベースを持つシステムであることがわかります。Correos Corporationの「Open LMS」は、パンデミックによるオンライン学習の急増に対応するために大学全体に導入されました⁹。

富士通は、データセンターのアウトソーシングを通じて¹¹、重要なシステム基盤を提供していると考えられます。2015年の導入事例¹¹では、約3万人の学生が利用する授業支援システム「CoursePower」とポータルシステム「Campusmate-J」が富士通のデータセンター上に構築されたことが明記されています。これは、富士通が単なるインフラ提供者ではなく、大学の主要な学術・管理システムを支える重要なパートナーであることを示唆しています。日立社会情報サービスの「IT's class.」は、10のキャンパスに導入されており¹⁴、大学全体でのクラス運営を効率化する役割を担っています。クレオマーケティングの「ZeeM 人事給与 学校法人版」は、約1万人の教職員の給与処理に利用されており¹⁵、大学の重要な管理業務を支えています。リコージャパンは、湘南キャンパスにおける印刷環境の改善に貢献しており⁴、学生や教員の日常的な学術活動を支えています。株式会社キャリアタスの就職支援システム「キャリアタスUC」は、大学全体のキャリア支援に導入されています²⁰。

プレスリリースからは、大規模なシステム導入やパートナーシップに関する情報が得られます。日立社会情報サービスの「IT's class.」導入に関するプレスリリース¹⁴は、その大規模な導入範囲を強調しています。株式会社キャリアタスの「キャリアタスUC」導入に関するプレスリリース²⁰も、大学全体での採用を示しています。クレオマーケティングの「ZeeM」に関するプレスリリース¹⁸は、コスト削減効果や広範な利用について言及しています。

調達情報からは、大規模な契約に関する情報が得られる可能性があります³⁰。スニペット³⁶では、ニッセイコムとの財務会計システムの保守業務に関する契約が確認できます。また、スニペット³⁴では、「情報環境部情報システム運用課情報基盤グループ」という部署名が派遣業務の契約に関連して言及されており、大学内にIT運用部門が存在することがわかります。

富士通がデータセンターのアウトソーシングを通じて¹¹、大学の主要なITシステムをホストしていることは、同社が東海大学のITインフラにおいて基盤的な役割を果たしていることを強く示唆しています。特に、授業支援システムやポータルシステムといった重要なシステムをホストしている点は、富士通が学術活動と管理運営の両面で深く関与していることを示しています。また、BCP対策が導入の背景にあることも¹¹、そのサービスのミッションクリティカル性を示唆しています。ニッセイコムが財務会計システムの長期的な保守契約を結んでいること³⁶は、同社が大学の財務管理において重要なベンダーであることを示しています。さらに、「IT's class.」（日立）と「Open LMS」（Correos）の導入は、東海大学が学術支援システムに積極的に投資しており、それぞれの分野で専門性の高いベンダーを選定していることを示唆しています。

4. 主要なシステムベンダーの特定

上記の分析を踏まえると、東海大学の主要なシステムベンダーとして最も可能性が高いのは富士通です。その理由として、以下の点が挙げられます。

- 広範なシステム基盤の提供: 富士通は、データセンターのアウトソーシングサービスを通じて、大学の多くのITシステムが稼働する基盤を提供しています¹¹。
- 重要なシステムのホスティング: 授業支援システム「CoursePower」やポータルシステム「Campusmate-J」といった、学術活動と管理運営の両面で重要なシステムをホストしている可能性があります¹¹。
- 事業継続計画への貢献: 東日本大震災の経験を踏まえ、BCP強化のために富士通のデータセンターが活用されていることは、そのサービスの重要性を示しています¹¹。

もちろん、ニッセイコム(財務会計)、クレオマーケティング(人事・給与)、Correos Corporation(学習管理)、日立社会情報サービス(授業支援)といった他のベンダーも、それぞれの専門分野で極めて重要な役割を果たしています。しかし、富士通のように広範なインフラ基盤を提供し、複数の重要なシステムを支えているという点で、より中心的なベンダーであると考えられます。

東海大学は、単一のベンダーによる統合されたERPのようなシステムではなく、複数の専門的なベンダーによる「ベスト・オブ・ブリード」型のアプローチを採用しているようです。

5. その他の重要なベンダーとその貢献

富士通以外にも、東海大学の運営に不可欠なシステムを提供している重要なベンダーが多数存在します。

ニッセイコムは、財務会計システム「GrowOne 財務会計」を提供しており⁵、大学の финансовое управление において中心的な役割を担っています。長期的な保守契約を結んでいることから、その重要性が伺えます。

クレオマーケティングの「ZeeM 人事給与 学校法人版」は、約1万人の教職員の人事・給与管理を効率化しており¹⁵、大学の管理運営において不可欠なシステムです。

Correos Corporationは、学習管理システム「Open LMS」を提供しており⁹、オンライン教育の基盤として、特に近年その重要性を増しています。

日立社会情報サービスの「IT's class.」は、大学全体の授業運営を支援しており¹⁴、教育活動の効率化と質の向上に貢献しています。

****CTC(伊藤忠テクノソリューションズ)****は、学生と教職員の健康管理ツール「Growbase」を提供しており⁷、大学コミュニティの健康維持をサポートしています。

リコージャパンは、印刷環境ソリューションを提供しており⁴、学術活動に必要な印刷サービスを支えています。

株式会社キャリアスは、就職支援システム「キャリアスUC」を提供しており²⁰、学生のキャリア形成を支援しています。

東海教育産業(東海EIC)と東海ソフトは、教育関連やシステム関連のサービスを提供しており²¹、大学の教育活動やITインフラを幅広くサポートしていると考えられます。特に東海ソフトは、ICT教育向けの無線インフラ構築をフルノシステムズと共同で行っています²³。

NECは、データセンターでのサーバーホスティングや仮想デスクトップ環境の提供を通じて¹²、重要なITインフラを支えています。

Wovn Technologiesとコラボレーションシステムズは、それぞれウェブサイトの多言語化²⁵、コンピュータ室の利用状況管理²⁶という専門的なサービスを提供し、大学の利便性向上に貢献しています。

複数の専門的なベンダーに依存するアプローチは、それぞれの分野で最高の専門知識を活用できるという利点がある一方で、システム間の統合やデータ共有において課題が生じる可能性も考えられます。

6. 最近のサイバー攻撃がベンダーとの関係に与える影響

最近発生したサイバー攻撃²⁷は、東海大学とITベンダーとの関係にいくつかの影響を与える可能性があります。

まず、セキュリティインフラを担当しているベンダーの責任が問われる可能性があります。今回の攻撃の原因や経路を特定し、再発防止策を講じる上で、これらのベンダーとの協力が不可欠となります。攻撃の規模や影響によっては、これらのパートナーシップの見直しが行われる可能性も考えられます。

次に、システム復旧プロセスに関与しているベンダーの対応が重要になります。迅速かつ効果的な復旧作業は、大学の早期正常化に直結するため、これらのベンダーの能力と協力体制が試されることになります。

さらに、今回のサイバー攻撃は、東海大学が今後のサイバーセキュリティ対策への投資を増やす契機となる可能性があります。その際、より強固なセキュリティソリューションを提供する新しいベンダーの選定や、既存ベンダーとの契約内容の見直しが行われるかもしれません。セキュリティ対策の強化は、今後のIT戦略における重要な要素となるでしょう。

今回のサイバー攻撃における大学のコミュニケーション戦略として、臨時のウェブサイト²⁷を迅速に立ち上げたことは、災害復旧計画の重要性を示すものです。この計画の策定や実行に

においても、ITベンダーは重要な役割を果たしていると考えられます。

今回のサイバー攻撃を契機に、東海大学はITベンダーとの関係を見直し、より強固なセキュリティ体制の構築を目指す可能性があります。セキュリティ能力が高く、インシデント対応の実績があるベンダーへの移行や、既存ベンダーとの連携強化などが考えられます。

7. 結論

本分析の結果、東海大学の主要なシステムを構築している中心的なベンダーは富士通であると結論付けられます。富士通は、データセンターのアウトソーシングを通じて、大学の多くのITシステムが稼働する基盤を提供しており、授業支援システムやポータルシステムといった重要なシステムをホストしている可能性が高いです。

もちろん、ニッセイコム、クレオマーケティング、Correos Corporation、日立社会情報サービスをはじめとする他のベンダーも、財務会計、人事・給与管理、学習管理、授業支援といったそれぞれの専門分野で不可欠な役割を果たしています。東海大学は、複数の専門的なベンダーと連携することで、多様なニーズに対応するITインフラを構築していると考えられます。

最近発生したサイバー攻撃は、大学のIT戦略とベンダーとの関係に影響を与える可能性があり、今後のセキュリティ対策やシステム復旧におけるベンダーの役割が注目されます。

より詳細なベンダーの責任範囲や関係性を把握するためには、東海大学のIT部門の組織構造や、個々のベンダーとの具体的な契約内容に関するさらなる調査が望まれます。

引用文献

1. 東海大学 - Wikipedia, 4月 26, 2025にアクセス、
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E6%B5%B7%E5%A4%A7%E5%AD%A6>
2. Tokai University - Wikipedia, 4月 26, 2025にアクセス、
https://en.wikipedia.org/wiki/Tokai_University
3. Tokai University, 4月 26, 2025にアクセス、<https://univ-journal.net/univ-info/tokai/>
4. お客様事例(東海大学 様) / ソリューション | リコー, 4月 26, 2025にアクセス、
https://www.ricoh.co.jp/case/1509_tokai
5. 学校法人東海大学 様(私立大学向け「GrowOne 財務会計」導入事例 ..., 4月 26, 2025にアクセス、
<https://www.nisseicom.co.jp/growone-financial-accounting/case/tokai.html>
6. 導入事例 | 財務会計システム GrowOne 財務会計 - ニッセイコム, 4月 26, 2025にアクセス、
<https://www.nisseicom.co.jp/growone-financial-accounting/case/>
7. Growbaseを採用した学校法人 東海大学 様の事例 | CTC - 伊藤忠 ..., 4月 26, 2025にアクセス、
<https://www.ctc-g.co.jp/report/case-study/u-tokai/>
8. 東海大学様 - ビジネスonIT | 企業のためのクラウドとセキュリティの情報サイト, 4月 26, 2025にアクセス、
<https://www.business-on-it.com/case/2014-tokaiuniversity>
9. LMS導入事例: 完全クラウドで快適な学習環境を実現～大規模大学 ..., 4月 26, 2025にアクセス、
<https://www.correos.co.jp/cases/olms-tokaiuniv>

10. 学校法人東海大学様Open LMS導入事例ダウンロード - コレオス株式会社, 4月 26, 2025にアクセス、<https://www.correos.co.jp/download/openlms-case-tokaiuniv>
11. FUJITSU データセンターアウトソーシング導入事例 学校法人東海 ..., 4月 26, 2025にアクセス、
<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/data-center-services/case-studies/2015/tokai-univ/>
12. 事務端末システム VirtualPCCenter 導入事例 学校法人 東海大学様 - NEC, 4月 26, 2025にアクセス、https://jpn.nec.com/case/u-tokai2/images/catalog_u-tokai2.pdf
13. NEC、神奈川データセンター内に学校法人東海大学のデスクトップ仮想化基盤を構築, 4月 26, 2025にアクセス、https://jpn.nec.com/press/201512/20151203_01.html
14. 【システム導入事例】全国10キャンパス、学生約3万人の授業運営を ..., 4月 26, 2025にアクセス、<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000005268.html>
15. 【導入実績2000社】事例インタビュー 学校法人 東海大学 ... - ZeeM, 4月 26, 2025にアクセス、<https://www.zeem.jp/instance/casestudy-toukaidai/>
16. 【株式会社クレオマーケティング】『ZeeM人事給与 学校法人版』活用事例 学校法人東海大学様 導入から5年、システム運用コストを3分の2に削減, 4月 26, 2025にアクセス、
<https://www.creo.co.jp/news/n170207/>
17. 『ZeeM人事給与 学校法人版』活用事例 学校法人東海大学様 — 導入, 4月 26, 2025にアクセス、<https://www.value-press.com/pressrelease/177298>
18. 【人事業務・改善事例】学校法人東海大学様 | 会計と人事給与システムのZeeM, 4月 26, 2025にアクセス、https://www.zeem.jp/press_release/press_20170207/
19. リコージャパン(株)の会社概要 | マイナビ2027, 4月 26, 2025にアクセス、
<https://job.mynavi.jp/27/pc/search/corp2160/outline.html>
20. 就職支援システム「キャリアタスUC」東海大学が導入決定, 4月 26, 2025にアクセス、
https://www.career-tasu.co.jp/press_release/6769/
21. 東海教育産業株式会社, 4月 26, 2025にアクセス、<https://www.tokai-eic.co.jp/>
22. 東海ソフト株式会社, 4月 26, 2025にアクセス、<https://www.tokai-soft.co.jp/>
23. フルノシステムズの無線LANアクセスポイント、東海大学付属相模高等学校・中等部がICT授業推進に向け導入, 4月 26, 2025にアクセス、
<https://www.furunsystems.co.jp/news/pressrelease/20181205000348.html>
24. 株式会社東海ソフト開発, 4月 26, 2025にアクセス、<https://www.tokaisoftdev.co.jp/>
25. 東海大学、建学100周年へ向けた取り組みとして、WOVN.io で公式サイトを英語化 - PR TIMES, 4月 26, 2025にアクセス、
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000131.000010446.html>
26. 東海大学 湘南キャンパス様 クラスビュー導入事例 - コラボレーションシステム, 4月 26, 2025にアクセス、<https://www.collabo-sys.jp/case-study-01/>
27. 東海大学(公式臨時), 4月 26, 2025にアクセス、<https://tokai-university.info/>
28. 東海大学にサイバー攻撃 学校の一部システムが使えず授業休講も - khb東日本放送, 4月 26, 2025にアクセス、<https://www.khb-tv.co.jp/news/15716262>
29. 東海大学、ランサムウェアによるサイバー攻撃で通信を遮断し復旧・調査中 - ロケットボーイズ, 4月 26, 2025にアクセス、
<https://rocket-boys.co.jp/security-measures-lab/tokai-university-ransomware-attack-network-shutdown/>
30. 調達情報の検索 - 調達ポータル, 4月 26, 2025にアクセス、
<https://www.p-portal.go.jp/pps-web-biz/UAA01/OAA0101>

31. 所管独立行政法人等調達情報, 4月 26, 2025にアクセス、
<https://pf.mext.go.jp/gpo3/kanpo/procurement.asp>
32. 調達情報 - 東海国立大学機構, 4月 26, 2025にアクセス、
<https://www.thers.ac.jp/procurement/>
33. 調達等に関する公表事項 - 東海国立大学機構, 4月 26, 2025にアクセス、
<https://www.thers.ac.jp/procurement/public/index.html>
34. 東海大学に関する入札情報・入札案件 一覧 - NJSS, 4月 26, 2025にアクセス、
<https://www2.njss.info/offers/search?name=%E6%9D%B1%E6%B5%B7%E5%A4%A7%E5%AD%A6>
35. 一般競争入札情報 | 東海国立大学機構施設統括部(名古屋大学), 4月 26, 2025にアクセス、
<https://web-honbu.jimu.nagoya-u.ac.jp/fmd/01nyusatu/nyusatu/index.html>
36. 財務会計システム保守業務 一式 - 落札者等の公示 - 国立大学法人 | 政府公共調達データベース, 4月 26, 2025にアクセス、
https://www.jetro.go.jp/gov_procurement/national/articles/315364/2024052100820152.html